

# 岡野英一先生・田中 滋先生・村井龍治先生 の退職記念号によせて

龍谷大学社会学部学会会長 山 田 容

2019 年度末をもって 3 名の教授が定年を迎えられることとなった。感謝と惜別の想いを込めつつ、以下、本学へのご着任順に定年退職の先生方を簡単にご紹介する。

現代福祉学科教授の村井龍治先生は、1991 年に社会学部助教授としてご着任以降、教育、研究活動のみならず学部運営に多大な功績を残されている。2003 年度から 2004 年度、そして 2014 年度から 2015 年度と二度にわたり学部長を、そして全学の入試部長の職責も果たされた。村井先生は、ご専門である障害者領域の研究を深められたが、同時に仏教社会福祉の領域でも業績を残され、多くの自治体の各種委員会等でも責任ある立場を担われた。

社会学科教授の田中滋先生は、1998 年より現職に就かれている。社会学研究科長、また国際社会文化研究所所長、評議員も歴任され、学部にとどまらず大学の研究活動、運営にもご尽力をいただいた。田中先生のご研究は多岐にわたるが、特に環境問題に取り組み、里山学研究センターの立ち上げに主導的に関われるなど、現代社会の重要課題となった持続可能な社会の構築に早くから取り組まれている。

瀬田キャンパス開設時に創設された社会学部は 2019 年に開学 30 周年を迎えたが、お二人が在籍された 20 数年の間に、コミュニティマネジメント学科の設置、社会福祉学科が臨床福祉学科、地域福祉学科の 2 学科展開を経て現代福祉学科へと統合されるなど大きな変遷を遂げてきた。この間の重要な決断と改革には、お二人の見識が盛り込まれていたことと認識している。

岡野英一先生は、2012 年に臨床福祉学科（当時）の特別任用教員教授として着任された。岡野先生は、永く社会福祉協議会職員として地域福祉実践に携わってこられたが、本学でも豊富な現場経験を多くの学生に伝えて下さった。また自治体や社会福祉法人、NPO など福祉団体でも理事等の職を担われ、地域での福祉実践を続けてこられた。岡野先生は、現代福祉学科の構想段階から完成年度まで在籍され、学科の礎の形成に貢献をしていただいた。現代の社会福祉実践の重要なステージは地域であり、地域福祉をご専門とされている岡野先生の豊かな経験と見識は、現代福祉学科において貴重な存在であった。

先生方の略歴に触れる中で気づかされるのは、各先生が教育、研究、社会貢献の視座の力点に地域を置かれていたことである。これは社会学部の掲げている現場主義の体現でもあり、社会学部を象徴する教員活動であったといえ、教員にも学生にも知的な刺激を与えて下さった。一度に 3 名もの教授の定年退職はあまり例がなく、他の退任される教員も含め、学部としては得がたい人材をお見送りすることとなった。これは学部にとって極めて大きな喪失であると同時に、個人的にもみなさんと折々にお話したこと、お気遣いをいただいたことなどが思い出され寂しさが募る。先生方の不在の意味は、時を経てあらためて感じる事となるだろう。

村井先生、田中先生、岡野先生並びに他のご退任の先生方のご健康とご多幸を願いつつ、これまでのご貢献を今後の社会学部の発展に活かしていくことをお誓い申し上げる。

# 岡野英一 教授 略歴

おか の えい いち  
岡 野 英 一



## 学 歴

福岡大学附属大濠高等学校卒業  
同志社大学文学部社会学科社会福祉学専攻入学  
同志社大学文学部社会学科社会福祉学専攻卒業  
同志社大学文学部社会学科社会福祉学専攻修士課程入学  
同志社大学文学部社会学科社会福祉学専攻修士課程修了

## 研究業績

### (近年の執筆物)

- ・「社会福祉の思想・理論と今日的課題」第3章第7節（2004年10月31日 川島書店）秋山智久他監修
- ・「住民主体の地域福祉論－理論と実践」第Ⅳ部第1章（2008年6月5日 川島書店）井岡勉監修
- ・「主任監事以後専門員ハンドブック」京都府介護支援専門員会編（2012年7月20日 中央法規）
- ・「岡村理論の継承と展開 第2巻 自発的社会福祉と地域福祉」(2012年9月20日 ミネルヴァ書房)
- ・「地域福祉実践研究第2号」書評（社協の醍醐味）(2011年5月 日本鉄道地域福祉学会)
- ・「社会福祉要論」野口勝巳編（共著 川島書店 2013年4月10日）
- ・「地域福祉のオルタナティブ」(共著 法律文化社 2016年10月20日)
- ・「地域福祉のエンパワメント」(共著 晃洋書房 2017年3月30日)
- ・「社協舞台の演出者たち」(共著 大学教育出版 2019年10月20日)
- ・「ソーシャルワーク研究 vol.45－我が師を語る－」(相川書房 2019年7月31日)

## 主な役職

### 1. 行政関係

栗東市地域福祉計画策定副委員長  
八幡市障がい者自立支援協議会委員長  
宇治市民生委員推薦会委員  
宇治市地域福祉（計画）推進委員会委員長代理  
宇治田原町介護保険事業計画等作成委員会委員長  
宇治田原町地域包括支援センター運営協議会委員長

### 2. 社会福祉協議会及び社会福祉法人関係

社会福祉法人 京都府共同募金会理事  
社会福祉法人 彦根市社会福祉協議会「彦根市地域福祉活動計画推進委員会」委員長  
社会福祉法人 栗東市社会福祉協議会「栗東市地域福祉活動計画策定委員会」委員長  
社会福祉法人 くらしのハーモニー監事  
社会福祉法人 宇治東福祉委員会評議員

社会福祉法人 不動園 特別養護老人ホーム天ヶ瀬苑入所検討委員会委員

**3. NPO 法人及び任意団体など**

NPO 法人 子育てを楽しむ会監事

NPO 法人 みっくすはあつ評議員

宇治ボランティア活動センター副運営委員長

「京都外国人高齢者・障がい者生活支援ネットワーク・モア」運営委員

## 田中 滋 教授 略歴

た なか しげる  
田 中 滋



### 学 歴

- 1976 年 3 月 京都大学文学部哲学科社会学専攻卒業。
- 1976 年 4 月 京都大学大学院文学研究科博士前期課程社会学専攻進学
- 1979 年 4 月 京都大学大学院文学研究科博士後期課程社会学専攻進学
- 1982 年 3 月 京都大学大学院文学研究科博士後期課程社会学専攻単位取得満期退学

### 職 歴

- 1982 年 4 月 京都大学文学部比較社会学講座助手 [1986 年 3 月まで]
- 1986 年 4 月 追手門学院大学文学部社会学科専任講師 [1988 年 4 月まで]
- 1988 年 4 月 追手門学院大学文学部社会学科助教授 [1995 年 3 月まで]
- 1991 年 4 月 BROWN UNIVERSITY, USA, CENTER FOR THE COMPARATIVE STUDY OF DEVELOPMENT 客員研究員 [1992 年 3 月まで]
- 1995 年 4 月 追手門学院大学人間学部社会学科教授 [1998 年 3 月まで]
- 1995 年 7 月 SOUTHERN QUEENSLAND UNIVERSITY, AUSTRALIA 客員研究員 [1995 年 8 月まで]
- 1998 年 4 月 龍谷大学社会学部社会学科教授
- 2011 年 4 月 京都大学大学院文学研究科社会学専攻客員教授 [2012 年 3 月まで]

### 所属学会

日本社会学会, 関西社会学会, 環境社会学会, American Sociological Association

### 学内役職

国際社会文化研究所所長, 評議員, 社会学研究科研究科長 ほか

### 社会活動

- 1988 年 4 月 京都仏教会「宗教と政治検討委員会」委員 [2019 年 3 月まで]
- 2019 年 4 月 京都仏教会「宗教と社会研究実践センター」主任研究員 [現在に至る]

### 研究業績

#### 1. 著書 (抄録)

1. 『琵琶湖水域圏の可能性－里山学からの展望－』(共著) 晃洋書房 2018 年。
2. 『都市の憧れ, 山村の戸惑い－京都府美山町という「夢」－』(編著) 晃洋書房 2017 年。
3. 『里山学講義』(共著) 晃洋書房 2015 年。
4. 『里山のガバナンス－里山学のひらく地平』(共著) 晃洋書房 2012 年。
5. 『里山学のまなざし－〈森のある大学〉から』(共著) 昭和堂 2009 年。
6. 『国家と宗教－宗教から見る近現代日本』(編著) 法蔵館 2008 年。

7. *Forging Environmentalism : Justice, Livelihood, and Contested Environments* (共著) East Gate Book 2006 年。
8. 『流域環境の保全』(共著) 朝倉書店 2002 年。
9. 『加害・被害と解決過程 (講座環境社会学第 2 巻)』(共著) 有斐閣 2001 年。
10. 『政治 (社会学講座 9)』(共著) 東京大学出版会 2000 年。
11. 『地方文化の社会学』(共著) 世界思想社 1998 年。
12. 『高度成長の社会学』(共著) 世界思想社 1997 年。
13. 『変貌する世界と社会学』(共著) 法律文化社 1994 年。
14. 『現代日本の政治社会学』(共著) 昭和堂 1990 年。
15. 『社会調査』(共著) 有斐閣 1989 年。
16. 『現代社会学の諸理論 (社会学の系譜 3)』(共著) 世界思想社 1989 年。
17. 『薬害の社会学』(共著) 世界思想社 1986 年。

## 2. 論文 (抄録)

1. 「暴力論から社会学の革新へ (1) - 〈存在と行為の社会学〉の構想の下で」『龍谷大学社会学部紀要』52 号 2017 年。
2. 「〈存在と行為〉の社会学へ - ナショナライゼーションと近代化の峻別の下で」『ソシオロジ』60(2) 2015 年。
3. 'Nationalization, Modernization and Symbolic Media—Towards a Comparative Historical Sociology of the Nation-State', "Historical Social Research", Vol.38.No.2. 2013.
4. 「祭りのオーソプラクシー化と社会変動 - 曳山祭を事例として -」(共著)『龍谷大学国際社会文化研究所紀要』(13) 2011 年。
5. 「戦後日本のダム開発とナショナリズム - ナショナライゼーション論にもとづく分析」(共著)『龍谷大学国際社会文化研究所紀要』(7) 2005 年。
6. 「流域社会への視座 - ナショナライゼーション論とリスク論を中心として -」『龍谷大学国際社会文化研究所紀要』(6 号) 2004 年。
7. 「媒介者たちの社会学はどこへ? - フィールドとしての社会学 -」『フォーラム現代社会学』(創刊号) 2002 年。
8. 「ポストモダンの社会運動 - 長良川河口堰建設反対運動の歴史的変化とその構図 -」『龍谷大学国際社会文化研究所紀要』(3) 2001 年。
9. 「河川環境事業としての『多自然型川づくり』 - 1970 年代以降における建設省・河川環境行政史」『環境社会学研究』3 号 1997 年。
10. 「古都税問題の宗教・政治社会学」(特集『宗教の社会学』)『現代社会学』13 卷 (1 号) 1987 年。
11. 「『他者』の論理構造 - 物象化論と役割論の対話をめぐって -」『社会学評論』35 卷 (3 号) 1984 年。

# 村井龍治 教授 略歴

むら い りゅう じ  
村 井 龍 治



## 学 歴

1975 年 3 月 龍谷大学文学部社会学科社会福祉学専攻卒業  
1981 年 3 月 龍谷大学文学研究科社会福祉学専攻修士課程修了

## 職 歴

1981 年 4 月 美作女子大学短期大学部助手  
1981 年 10 月 美作女子大学短期大学部講師  
1984 年 4 月 美作女子大学短期大学部助教授  
1988 年 4 月 四条畷女子短期大学助教授  
1991 年 4 月 龍谷大学社会学部助教授  
1998 年 4 月 龍谷大学社会学部教授  
2003 年 4 月 龍谷大学社会学部 学部長（2005 年 3 月まで）  
2005 年 4 月 龍谷大学 入試部長（2008 年 3 月）  
2007 年 4 月 社会福祉法人近江薫風会理事長（2012 年 3 月）  
2014 年 4 月 龍谷大学社会学部 学部長（2016 年 3 月）

## 研究業績

### 1. 主な著書

『現代社会における「福祉」の存在意義を問う：政策と現場をつなぐ取り組み』（編著）ミネルヴァ書房 2018 年  
『天地を拓く』（共著）財団法人日本知的障害者福祉協会 2013 年  
『障害者に対する支援と障害者自立支援制度』（共）へるす出版 2011 年  
『障害者福祉論 障害者自立支援の制度と方法』（編著）ミネルヴァ書房 2010 年  
『戦後仏教社会福祉の歴史』（共著）法蔵館 2009 年  
『障害者福祉概論』（編著）学文社 1999 年 他 11 編

### 2. 主な論文他

「障害者における医療費と自立支援給付費との関連研究」龍谷大学社会学部紀要 43 号 2013 年  
「知的障害者を築いてきた人物伝（田中正雄）－田中雅をの誓いと『六方』にかけた想い」知的障害者福祉 SUPPORT 2008 年  
「浄土宗本願寺派における戦後仏教社会福祉事業」龍谷大学社会学部紀要 28 号 2005 年  
「戦後仏教系社会福祉事業の歴史と課題」第 3 章 『障害児・障害者福祉分野』戦後仏教系社会福祉の歴史と現状に関する総合研究 2005 年 他 30 編

## 所属学会

日本社会福祉学会，日本仏教社会福祉学会，日本地域福祉学会，日本ソーシャルワーク学会，公衆衛生学会，他

**主な社会活動**

大津市社会福祉審議会委員長，滋賀県人権擁護委員会委員長，滋賀県社会福祉協議会人材センター運営委員会委員長，枚方市障害者施策協議会会長，野洲市障害者虐待防止推進協議会会長，滋賀県高齢者対策審議会委員，滋賀県リハビリテーションセンター調査・研究事業専門選定委員 他